

工業用水道事業会計決算

平成23年度 公営企業の決算状況をお知らせします

486万円の
単年度黒字

平成23年度は、前年度と同数の25事業所に給水を行いました。給水量は、工業団地の各事業所の使用水量が増加したため、前年度に比べ11・2%の伸びとなりました。

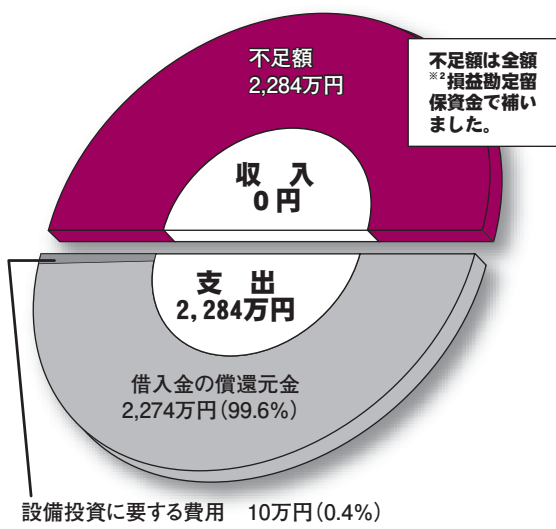
収支は、収入が前年度より306万円増の4608万円、支出が前年度より74万円増の4122万円となり、486万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金返済に充てるため積み立てます。

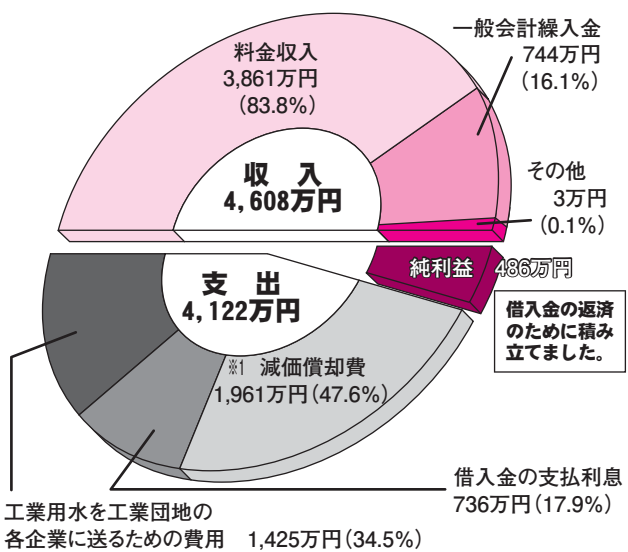
用語解説(グラフ内)

- ※1 減価償却費
建物や設備など、時の経過によって価値が減る分を計算し、その年度の費用とします。実際には現金の支払いはなく、会計処理上、損益勘定留保資金として処理します。
- ※2 損益勘定留保資金
資本的収支の不足額を会計処理上補う財源の一つで、減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金です。

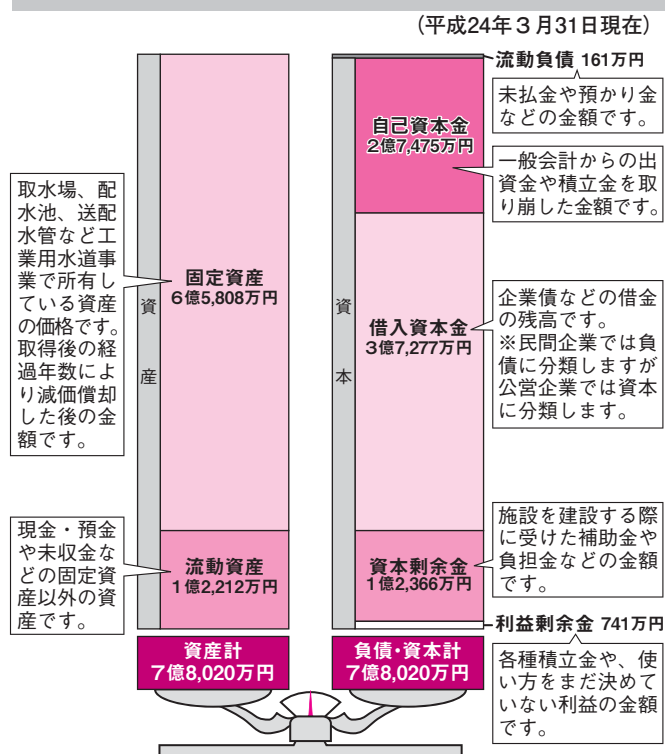
資本的収支(消費税込み) (施設の整備に関する収支)



収益的収支(消費税抜き) (事業の運営に関する収支)



平成23年度 大館市工業用水道事業貸借対照表



給水状況

給水事業所数	25事業所
配水能力	5,300m ³ /日
年間総配水量	1,347,873m ³
1日最大配水量	4,532m ³
1日平均配水量	3,683m ³

年間配水量の推移

